

上図の様に接続して使用します。必要に応じて部分的に接続して使用することも可能です（エクスプレッションペダル情報を USB 接続したコンピュータに送るために使用するなど）。また、PC からの MIDI 情報を MIDI-SPY の MIDI OUT 端子から出すこともできますので、音源などを接続して簡易的^(*)な MIDI インターフェースとして使用することも可能です。

(注)MIDI IN に MIDI 機器を接続すると、入力された MIDI データが USB 側の他に MIDI OUT 端子にもそのまま出力されますので、通常の MIDI インターフェースとは異なる動作になります。

エクスプレッションペダルの設定

MIDI-SPY ではエクスプレッションペダルを操作したときに、MIDI コントロールチェンジの何番を送出するかを本体で簡単に設定できます。

MIDI-SPY に電源が入っている状態で、エクスプレッションペダル端子に接続したペダルを操作すると、エクスプレッションペダル LED が点灯し、LED ディスプレイにペダル操作に応じた MIDI データの値 (0 ~ 127) が表示されます。

この状態でノブスイッチを押すと、エクスプレッションペダル LED が点滅し、設定モードに入ります。

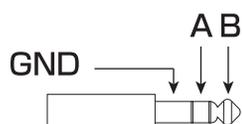
そのままノブスイッチを左右にひねると、LED ディスプレイに送出する MIDI コントロールチェンジのナンバー (0 ~ 127) が表示されますので、任意の値に設定したら再度ノブスイッチを押してエクスプレッションペダル LED が点灯の状態に戻れば設定は完了です。

例えば DAW などにボリューム情報を送りたい場合には、コントロールチェンジナンバー 7 に設定します。

フットスイッチについて

MIDI-SPY のフットスイッチ端子に接続できるフットスイッチは、ラッチタイプ（押している間だけオンになるタイプ）の 2 連フットスイッチで、ステレオフォンケーブルで接続出来るものとなります。

下図の A とグラウンドが接触すると、デクリメント（値が -1 される）、B とグラウンドが接触すると、インクリメント（値が +1 される）となります。また、A と B が同時にグラウンドと接触すると次に説明する初期値が送出されます。



フットスイッチの設定

MIDI-SPY ではフットスイッチを操作したときに、MIDI のプログラムチェンメッセージが送出されます（押す度に +1 または -1）。

また、2 連フットスイッチの両方を同時に押すと送出される初期値のプログラムチェンジは、下記の方法で設定できます。

MIDI-SPY に電源が入っている状態で、フットスイッチ端子に接続したフットスイッチを操作すると、フットスイッチ LED が点灯し、LED ディスプレイにペダル操作に応じたプログラムチェンジの値 (0 ~ 127) が表示されます。

この状態でノブスイッチを押すと、フットスイッチ LED が点滅し、設定モードに入ります。

そのままノブスイッチを左右にひねると、LED ディスプレイに送出するプログラムチェンジのナンバー (0 ~ 127) が表示されますので、任意の値に設定したら再度ノブスイッチを押してフットスイッチ LED が点灯の状態に戻れば設定は完了です。

仕様

- エクスプレッションペダルから送出できる MIDI データ コントロールチェンジ 0 ~ 127 ※120 以降はモードメッセージとなります。
- フットスイッチで送出できる MIDI データ プログラムチェンジ 0 ~ 127 (1 ~ 128)
- 端子: USB x 1、MIDI IN x 1、MIDI OUT x 1、エクスプレッションペダル x 1、フットスイッチ x 1、DC9V 50mA x 1
- 電源アダプター: 直流 (D.C.) 9V 500mA
- 付属品 : 取扱説明書、USB ケーブル
- 寸法 : 9.7 x 5.8 x 4.8 cm
- 重量 : 0.27Kg 本体のみ パッケージ 0.45Kg